



でっかかわクールな幼馴染は、
僕をどろどろに甘やかす

私が憧れたのは

臆病風に吹かれている
あなたじゃないわ

彼女の姿が
遠のくほど、

……さよなら
鷹秋……
たかあき

胸の奥がジリジリと
炙られていくのを感じた

まただ……

なんでこんな夢ばかり……

はあ……





ん...?

ギャー
ギャー

寒そうだなあ...

もう冬が
あつという間だ

ポリ

ポリ...

...えーっと
なんだっけ...?

.....って

聞いてんのかよ
鷹秋!?

火野
樹夏

ヤンキーっぽい風貌だけど、
中身はそうでもない

なんだっけ、じゃねえよ!
ほーっとしやがって...

罰ゲームだよ
バ・ツ・ゲ・ー・ム!!



イヤな予感……

その肝心の罰ゲームの内容って何なの？

……で、

そうだったね



やっぱり胸ぐらは掴まないんだ……優しい……

ちみっ……

罰ゲームをしろって言うてんだよ!!

アンタにしばらくちよっかい出さない代わりに、



……僕と樹夏がよく知ってる人って……

まさか……!!



冬結だよ

その名前が出た瞬間

僕は天を仰いだ



告白すんだよ!

アンタもよく知ってるアイツになア!

ハァッ……

お

っ

氷里 冬結

彼女は僕と樹夏の古くからの友人

……のはずだ

才色兼備

名前の如く冷たい雰囲気と

他を圧倒する大きな背丈は

女子たちの憧れの的になっている

ただ、

あまりにも高みに見えてしまう彼女の周りに、

人の声が届くことは無かった

一人を除いては

近所のばあちゃんが 飴くれてさあ

いつだって皆、遠巻きで眺めるばかり……

そう



冬結さまー♡

キャー♡





僕だって本当は樹夏みたいのに、

冬結と話がしたかった

でも



成長するにつれて、

冬結は才能を開花させ
……大人びていった



その気持ちも恥ずかしくて
堪らなくなるぐらいに、

僕らの差は
広がってしまったから



それにくらべて僕は、

得意だった勉強もスポーツも
どんどん周りに
ついていけなくなった

冬結が僕から
離れたんじゃない

僕が……
僕がずっと
後退りしているんだ



もうこのままの
関係は嫌だ

ん



たとえ罰ゲームが
始まりの告白でも

この気持ちには絶対に
嘘なんかじゃない!!



ぼ、
僕と付き合っ
てください!!

彼女に告白している

だから僕は今、

キッ



放課後……

私の家で

冬結は

それだけを言い残して
去って行った

放課後

ピンポン

ドキ

ドキ

上がって

…私一人だから

ガラガラ

あ……うん

……さっき

してくれた告白の
返事だけ……

……

ゴク……

きゃ……

ビクッ
!?





…付き合い
ましよう…

私たち



告白が罰ゲームなのは
分かっているから



それと……

えっ…!?



……そう
信じられないのね

なら、



…つまり冬結の
返事は本心じゃ
ないのか…?



告白が罰ゲームと
分かった上で…

なんでバレた!?
どうしてバレた!?



私がどう思っているのか…

—その身体で
確かめてみて

七ゅっ

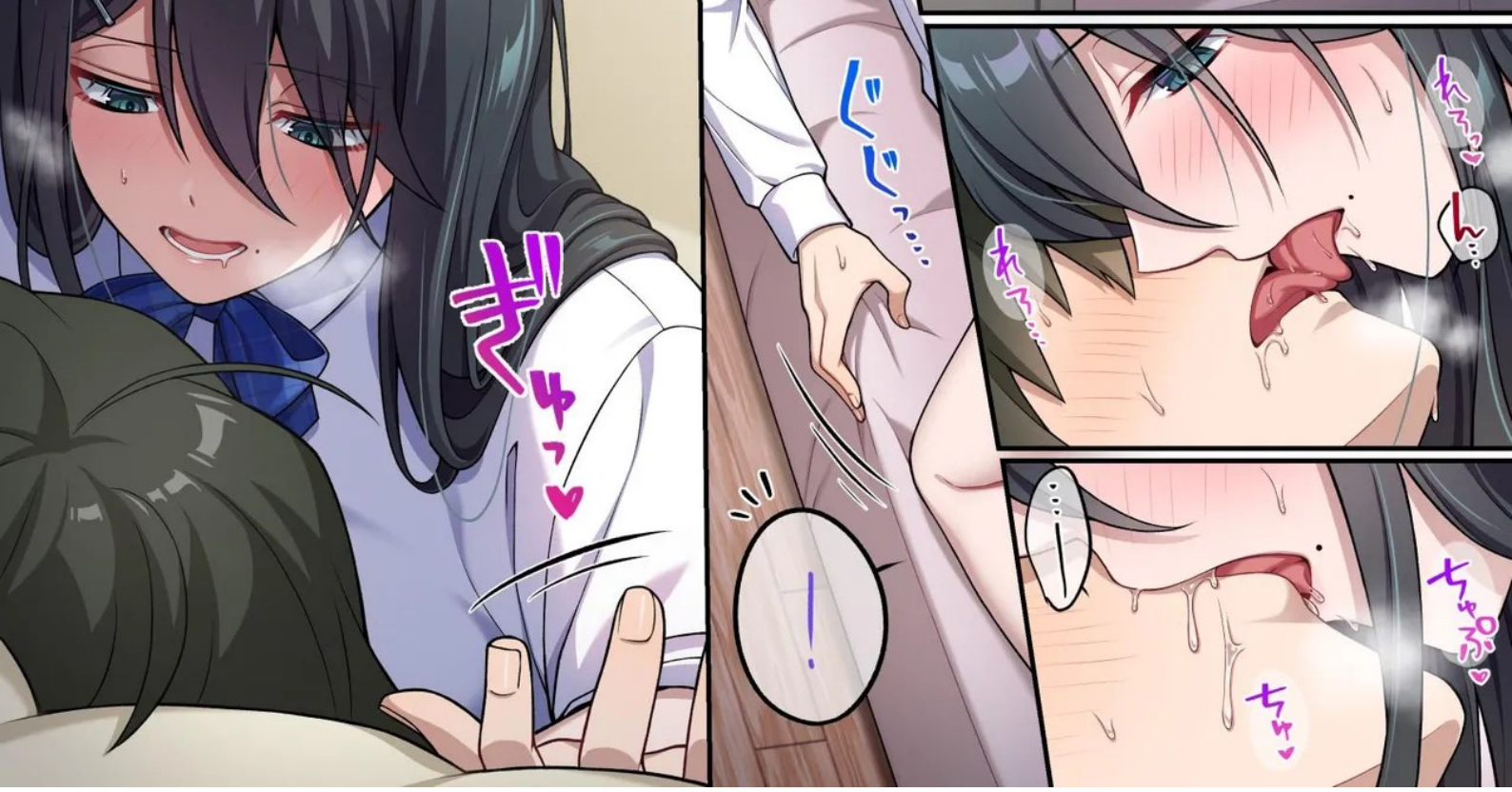


…逃げちゃダメ

七ゅっ

七ゅっ

七ゅっ



ぎゅっ♡

七ゅっ

七ゅっ

七ゅっ

七ゅっ

びびっ…

!







やばい…
どうしよう…

頭が
ふわふわしてきた…



ぬるぬるしてて
あったかくて…

すっごく
気持ちいい…



はぁ…

ガク

ガク



クゥ

まず!!!

も……
出る……

びく……

ポッ

クゥ

!



あふ、
冬結……!!
ごめん……!!
口に……

……の……
飲んじゃった……!!



……あら?



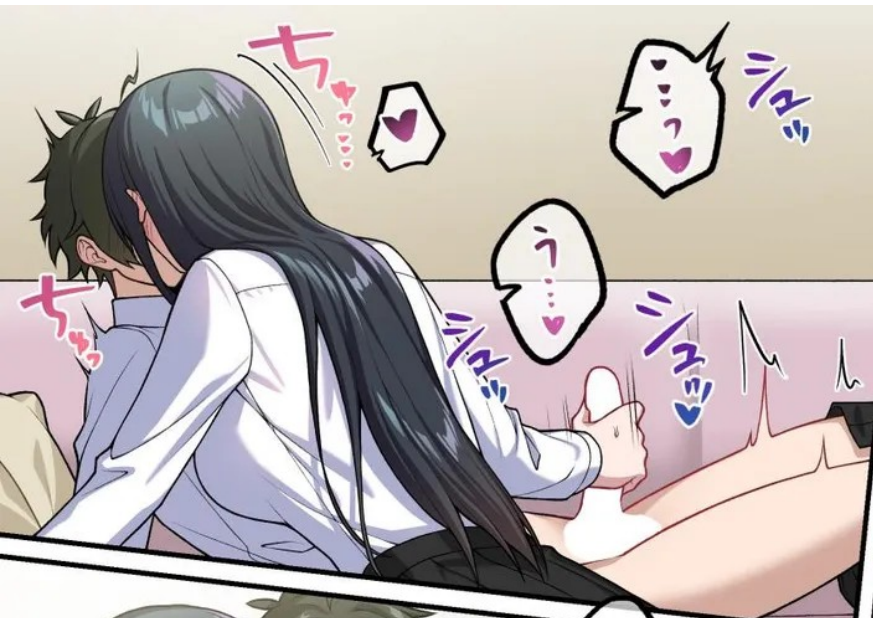
……嬉しい

こんなに
感じてくれたのね

勉強しておいて
良かった……



……





見て…
こんなに
いっぱい…♡

はあ…

じゅわん…♡

むちゅ…♡

どろん、



じゅわん…



うわ…!!
冬結のおっぱいが
目の前に…

手がべとべと…



ふふ…見すぎよ
胸ばっかり

ドキッ

あ…



見せてあげる

…そんな
気になるなら

おっぱい

わい

あーん

おっぱい

おっぱい



夢みたいだ…
冬結のおっぱいに
触れるなんて…!!

おっぱい

♡

♡

たぶ

ドキ
ドキ
…



ほら…
触っていいのよ?



おっぱい

うわ…すごく
柔らかい……!!





んっ♡

む

んっ♡



ふ…冬結のおっぱいに

僕のおちんちんが包まれて…!!



あ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡



おちんちんにも
気に入って
もらえるかしら?
ドキ

ふえっ!?

それって
どういう…

ドキ…

んっ♡



ああ…
すごい…♡

んっ♡

んっ♡

おちんちんが
胸の中で…

どんだん硬く
熱くなってくう…♡



いや…
情けないなって
思わない…？

そんなこと
ないわ…

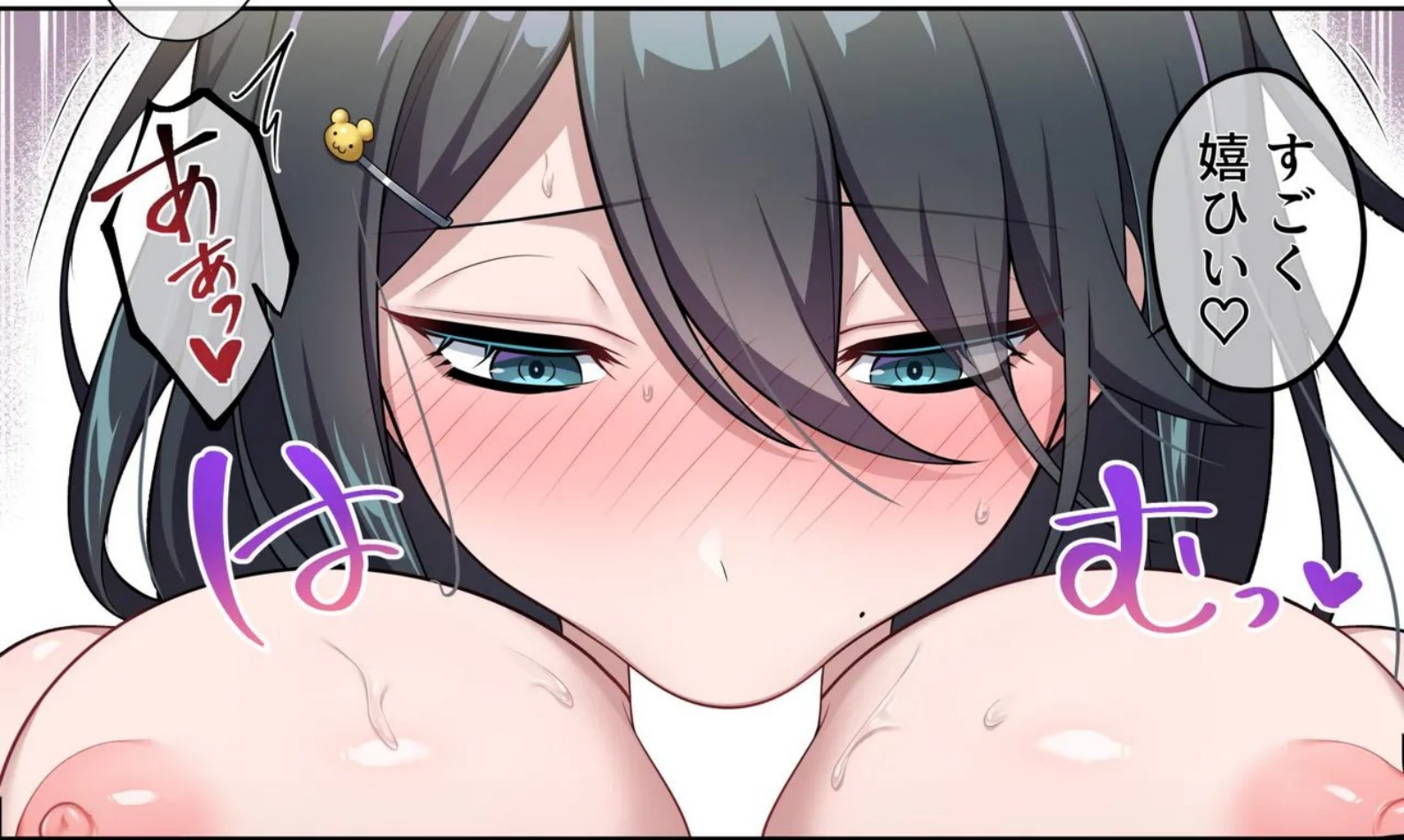
欲情して
もらえて
私…



ご…
ご…
ごめん…

?
どうして
謝るの？

ふふ…お汁も
こんなに沢山…♡



すごく
嬉しい♡



冬結…ふゆっ…

おっぱいも口も
全部良すぎて
僕…っっ!!



んむっ♡
おいしい…

鷹秋の
おちんちん…♡



う...うん...!
下も...見せて
冬結...!

...全部
じゃないわ

まだ確かめて
ないトコロ...
あるでしょ?

ふふ...
勿論よ...♡



好きなように...♡

鷹秋の...

ドキキ

ドキキ...







鷹秋…

「挿れたい」って顔してる…

私もココに鷹秋が欲しい

おいで…♡

い

い



ゆっくりで押し込んで

ココよ…そのまま…



ふふ…仕方ないわね

滑ってうまく入らない…っ

毛月 毛月…



うん…!!

んっ あれっ…





好き...

私も...ずっと前から
鷹秋のことが



あっ?!

うあ、し
やバいっ!

え?

勿体ないわ…

は

は

全部お腹の上…

せっかく
こんなに
出たのに

もう…

にちま

っ
だ、だってゴムつけて
なかったし…

中に出されたら
嫌でしょ…?

かぼ

〜

む。

出したいなら
中に出せば
いいじゃない

でも
冬結は...

私の気持ち...まだ
伝わってない？

鷹秋の事が
好きなの

にゅむ...

好きな人には
何でもされたいの

好きなように
してほしいの...

おち...

おち...

びびり...



ずうっと距離を置かれてばかりじゃ嫌…



私の背が伸びた頃くらいよね…

鷹秋が話しかけてこなくなったのは…



もっと甘えてほしい…!!

ああ…



そうだ…
離れていったのは
冬結じゃなくて

ん
僕のほう
だったっけ…



ああ…♡
胸とおまんこを
同時に…♡

鷹持ちいいわ
♡



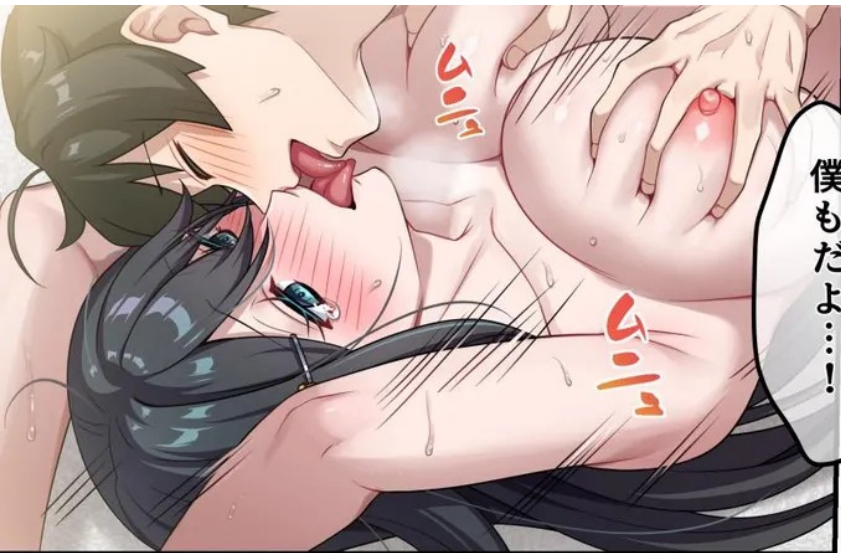
も、もう！
からかわ
ないでよ…！

ふふ…
いい子
いい子
♡

ふふ…♡
だって
嬉しいん
だもの…♡

ぐわん

ぐわん



ずっと…
こうした
かったから…

僕もだよ…!

うん…

ぼんっ

ぼんっ



鷹秋…♡

たくさん私で
気持ち良くな
って…♡

うあ…っ!
やば…すごい
締め付け…

ぎゃうっ♡



イクッ
冬結ッ
僕もうイク…!

私も…♡
一緒に…♡♡

うん…
うん…♡

ぼんっ

ぼんっ

ぼんっ





冬結っ！
出すね…！

ばちゅっ

すぢゅっ

ええ…♡
今度こそ…
膣内に…

たっぷり…
ちようだい♡♡

あ♡
あ♡あ♡♡

ぶゅっ♡
ぶゅっ♡



冬結…
大好きだよ

もう離れない
からね

ええ…ずっと
傍にいてね



あ…はあ…
すっごい…っ
気持ち
よかったあ…

ふふ…私も…

はぁ…

はぁ…

はぁ…♡



ふ...
ったく
世話の焼ける奴らだぜ

これは上手くいった
...ってことで
いいんだよな



...アイツが
冬結の家に入って

三時間
ぐらい...



...つか
あん時アタシに
告白しろって
言ったら

アイツとアタシは...
どうなっていたんだろ?



っせえぞ!!

アタシはまだ
野郎のことなんぞ
知りたくもねえ!!



やっぱ...
なるようになるよな...

かああ...



嬉しい…

鷹秋とまた話せた上にこんな風に触れ合えて…



ほめんねし

優しくおし

…って言ったたら嫌そうな顔をするんだらうなあ…



きつと樹夏が鷹秋を焚きつけたのね

ホントに優しいんだから…



樹夏のこともうんと甘えさせてあげなくちゃ

あの頃みたいに…また3人で…

ふふふ…



お、おはよう

ええ
おはよう

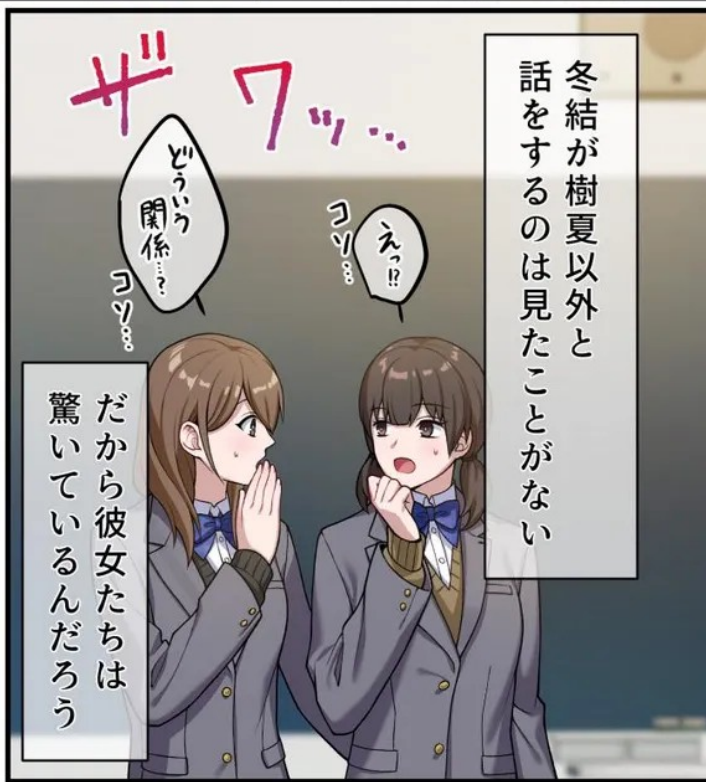
あの後、

僕は冬結の家に泊まって
そのまま学校へ来たのだ



でも

今の僕には
そんなことは
どうだっていいんだ



冬結が樹夏以外と
話をするのは見たことがない

えっ!!
コソ...

どういう
関係?
コソ...

だから彼女たちは
驚いているんだろう



いつだって、
僕はこうして
いたかったんだから



作画協力：森深雪様
シナリオ協力：夙川鳴様
制作：南北めぐち(Twitter：@nanbokumegochi)

無断転載・複写・アップロードを禁じます。